

# 高島市議会だより

2010・1・29 発行

高島市議会だより

No.22

発行 高島市議会議員 渡邊 近治 / 編集 議会広報特別委員会  
〒562-1159 滋賀県高島市新旭町北畑565番地 TEL. 25-8140  
高島市議会メールボックス gikai-giji@city.takashima.shiga.jp



## 総務常任委員会

市の機構にある総務部、企画部、行財政改革推進室、会計管理者、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部が所管する事項、その他のどの委員会にも属さない事項を所管する委員会。  
8名の議員で構成。  
今年度は、高島市経営改革プランに関する研修会を行ったほか、行財政改革と公金収納について県外行政視察を行っています。



## もくじ

### CONTENTS

- 委員会報告 ..... 2 ~ 4
- 一般質問・3月定例会のお知らせ ..... 5 ~ 13
- 意見書 ..... 14
- 議決事項一覧表 ..... 15
- 会派だより ..... 16 ~ 17
- 市民の声・編集後記 ..... 18



No.22

## 市民の声

### 集落内での消雪装置の設置を

今津町 I.Yさん

近年、温暖化で雪の降る量も少なくなりましたが、多いときは1mを超す年もあります。

道路の消雪装置については、山間部では大部分できておりますが、平たん部ではまだまだです。特に、通学道路等は早急な設置を望みます。生徒が通ってからの除雪は何の意味もなく、少子高齢化で雪除けは大変な重労働です。

毎年、除雪費用予算はどうなっているのか。雪の多い年もあれば少ない年もありません。その差額はどのようにしているのか。

ぜひ、まちづくりの助成事業等で一考をお願いしたいと思います。



※雪が少なく予算が余った場合は、減額補正され、今後の市の各種事業のための財源となります。

### 12月議会の傍聴を終えて

安曇川 Yさん

これまでの私の本会議傍聴の手段は、公民館・支所等でのテレビ中継を、時間の許す範囲で見ることでした。しかし、今般、リストラにより時間が出来、その時間を有意義に利用するため、直接傍聴して生の議場の声を聞き、市政の状況を知る機会を得ることができました。

傍聴をして感じたことは、全般を通して重複質問など細部に渡る調整が出来ていないこと、また、原稿を一言一句、質疑・答

弁するなど、まだまだ議員側、執行側ともに見受けられる。もっと関連質問の時間を取って、執行側から即時に答弁が得られるよう、質疑の充実と重複質問等を避け、効率的運営に努められるようお願いいたします。



## 編集後記

今から55年前、鳩山一郎内閣が発足した。前任の吉田茂首相のワンマンぶりが不評だったこともあって、新首相の誕生は「鳩山ブーム」を巻き起こし、翌年2月の総選挙では鳩山総裁の民主党が第1党に躍進した。2年間にわたり政権を担当した一郎氏は、衆院に小選挙区中心の選挙制度導入を試みた。その手法は党利党略の区割り改変を意味するといわれるほど強引であった。一郎氏の孫にあたる由紀夫氏が首相になって間もなく5カ月、喫緊の課題である経済対策や基地問題で迷走を重ね、財源不足でマニフェストは幻想に終わりがねない。個人献金は偽装が発覚し、説明責任からは逃げの一手だ。「迷走」「幻想」「偽装」「逃走」では、国民は不安を募らせるばかりだ。

(小島)

